



今月の表紙は、1月14日に町民会館で開催された成人式です。当日はあいにくの天気です。写真が撮れるか不安でしたが、式典後にロビーで旧友との会話や記念撮影を楽しむ新成人に「写真撮りまーす!」と呼び掛けただけで勢い満点!笑顔満載!雨で室内撮影だったからこそ、新成人のパワーがギュッと詰まった写真が撮れました☆

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報G
E-mail:kikakujocho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139

幸田文化協会 写真クラブ

写真クラブ会員の清田正真さんの体験文を紹介します。

そろそろ芸術的趣味を少しでも持ちたいなあと思っている矢先、たまたま文協春の文化展の写真を観に行き、「自分も展示作品レベルの写真が撮れたらいいなあ」と思い、勇気を出してその日に入会を申し出ました。

写真には芸術的に撮る難しさと奥深さを感じます。アングルを決め、良かれと思いシャッターを押したものの、カメラのモニターに映し出された映像に「うう〜ん、ちょっと違うんだよね?」。撮影イメージと写真とのギャップ差を詰める努力をしています。しかし、撮影旅行・写真研究会などで先輩からのアドバイスや細かなご指導のおかげで「写真とはどういうものか」少し解って来たと思っています。最近ではカメラを持ち歩く機会を増やし旅行時はもちろん、ちょっとした出来事・きれいな夕日など自然を満喫しながら撮って楽しんでいます。

「写真とは、一瞬一瞬、その光と陰が移り行く中で、自分の感性にあった瞬間を写しとめるもの」といわれています。一般的に良い作品とは、多くの人が共感し、感動を与えるものだと思います。写真に限らず「芸術には正解・合格というものは無い、だから無限への挑戦が秘められている」ので遣りがいある写真を一生の趣味にしていこうと思います。

また、これから写真クラブに新しい仲間が増える事を期待しています。

問合せ 幸田文化協会写真クラブ

☎63-5688



サークル紹介

この指とーまれ 135

みんなの作品展!

平成24年度 読書感想画展からのセレクトです



かわち ゆめ さん



おかだ かいり くん

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

今月の記念日

2月3日は「絵手紙の日」

「絵手紙」を描いて送ることを世界中に呼び掛けようと、「絵手紙の日」は制定されました。手紙の「ふみ」と日付の語呂合わせになっています。

絵手紙とは、動物や植物、野菜や果物など季節の風物を描いた絵に、短い言葉を添えた手紙のこと。近年、趣味として絵手紙を楽しむ人が増えています。人気の理由は「誰もが気軽に楽しめる」からです。

絵手紙のキャッチフレーズは、「ヘタでいい、ヘタがいい」。上手に描くのではなく、その人らしさが出るのが絵手紙です。心を込めて一生懸命描いたものは、相手の心を打ちます。また、絵手紙は下書きをしたり、ほかの紙に練習してから描いたりということはしません。いつでも「ふつつけ本番」です。

描き手の感性や人柄が感じられる絵手紙を交換し合うことで、心の交流を楽しむ人々も増えていきます。人に思いを伝えるのも、早くて便利なものに頼りがち。しかし、そうした世の中だからこそ、手づくりで、描き手の人柄が感じられる絵手紙に人気が集まっているのではないでしょうか。

